オトコの逸品

愛車のメンテナンスにおいて、洗車は当然としてオイル交換やタイヤ交換程度ならDIYでやっている人が多いはず。そのようにしてクルマの調子は維持できるワケだけど、DIY作業のネガティブな面として「手が汚れてしまう」というのは致し方ないところ。ここでは、そんな汚れた手を短時間で綺麗サッパリ洗い流してくれる、オトコの逸品を紹介したい。

原材料を選び抜き高性能を極める

プロ整備士の間では常識的なアイテムであっても、アマチュアにはあまり知られていないモノ。今回紹介する「デラックス ユーゲル（以下：ユーゲル）」はそんな逸品だ。

クルマいじりは楽しいものだけど、手は必ず汚れる。その汚れの原因はオイルやグリス、ワックスなどの油脂類や、ブレーキダストや砂埃などもある。これらは手の平はもちろん、指紋を始めとした皮膚のシワの中まで入り込む不快なものだ。

ここで、大多数のひとは台所に行って食器洗剤でゴシゴシ洗うはず。それでも指紋内までビッシリとこびりついた油汚れはなかなか落ちない。頑張ったとしても8割程度までしか綺麗にならないってのは皆んなも経験済みだろう。

そこで紹介しておかなくてはならないのが「ユーゲル」。そのビジュアルは単なる“ピンクの粉石鹸”なのだが、その洗浄パワーがハンパではないのだ。

と、その効果に触れる前に、ユーゲルがどんな成分で構成されているかについても紹介しておこう。まずそのベースとなっているバーライトという研磨粒子。これはガラス質の真珠岩を高温で焼結して発泡させることで、無数の気泡を生成。スッカスカの“軽石”をイメージしてくれれば間違いない。その気泡の中に液体の洗浄成分を流し込んであるというのがユーゲル大まかな構造だ。その洗浄成分は、天然系ヤシ油や界面活性剤を原料としていて、手荒れを起こさない範囲で最大の洗浄効果を発揮する弱アルカリ性のpH（ペーハー）にチューニング。加えて洗い上りもサッパリするようにと調合されたスペシャル品なのである。

メカニックの必需品

デラックス ユーゲル

実勢価格：1500円前後
（※送料込み ネット通販価格 OPT編集部調べ）
㈱ コスモビューティー
http://www.cosmobeauty.co.jp

その差歴然！頑固な汚れを洗い流す

整備後の手洗いならコレ一択 年単位での“綺麗”を約束！

油まみれの手でユーゲルをグワッと鷲掴みに。そのまま両手をワシャワシャと擦っていく。最初は多少ザラッとしているユーゲルだが、擦っているうちに手に馴染んでくると「オイオイ、マジですか!?」というレベルで汚れが落ちていくのだ。その秘密は、使用時に手を擦り合わせていくと研磨粒子であるバーライトが砕けながら、続々とフレッシュな洗浄成分が吐出してくるばかりか、その砕けたバーライトがスクラブ洗浄剤ともなって、ミクロン単位の隙間まで入り込んで油汚れを掻き出してくれるという匠。故に、手の平や指紋などのシワの間の汚れもガシガシ落としてくれるのだ。

だが！　厄介なのは爪と指の間や爪の生え際など、擦り合わせるのが困難なシェード部分の汚れ落とし。その打開策として「爪ブラシ」といったような商品名で売られているアイテムとの併用をオススメしたい。正直、これだけで99%以上のガンコな油汚れを落としてくれるという、頼もしいコンビとなる。

ユーゲルの6kgという容量は、一般的なサンデーメカニックレベルなら1年は持つし、月に一度か二度のクルマ弄りという人ならば数年単位で持つので、長きにわたって“綺麗”を確保できる。それでいて実勢価格が1000円台という奇跡。とくにDIY派のユーザーに間違いなく推せる“一家に一ユーゲル”は、もはやクルマ好きの常識となるアイテムなのだ！

ユーゲルができるまで

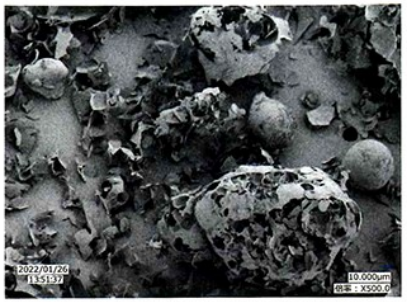
1 強固な汚れを浮かせ、洗いあがりもサッパリ爽快となるように洗浄液を調合する。
2 3 東北地方で採掘された真珠岩を国内の工場で発泡加工した純国内産のバーライト。これを調合済の洗浄液と混合することでユーゲルが誕生する。
4 段ボール箱&ビニールの中にユーゲルを充填&梱包すれば完成だ。ちなみにこのビニール袋、ユーゲルを使う度に必ず口を閉じること！　ユーゲルは粉石鹸のように見えるし、使い心地も粉のようだが、じつはバーライトの中では液体のままの洗浄剤なのだ。ちなみに年月が経ってパッサパサになってしまった場合は、水で延ばせばほぼ復活させることは可能だそうだ。

1

2

3

4



バーライトを顕微鏡で500倍に拡大した写真で、写真の左右幅で僅か680μm（0.68㎜）。真珠岩を焼結、発泡させることで写真のような多孔質となり、その隙間に洗浄成分が流し込まれるわけだ。

こちらの顕微鏡写真は、左右幅で約340μm（0.34㎜）となる1000倍の拡大写真。発泡したバーライトは、割れた陶磁器のように、いたる所にエッジが立ってささくれのような構造体となっている箇所もある。このエッジが洗浄時にスクラブとなって、油汚れを隅々まで掻き取ってくれる秘密だったのだ!!

テスト&チャレンジ **その効果はいかに!?**

100均でも売っている「爪ブラシ」を併用すれば鬼に金棒。ユーゲルのビニール袋を開けた時に爪ブラシが入っていれば…。そう、それが“わかる男”の証だ。

ヤラセー切なしで、たったの1分程度でこの洗い上り！　オニギリが握れるレベルの綺麗な手が復活したゾ!!

ユーゲルを手に取って10秒程度擦り合わせた状態。早くもその洗浄パワーを発揮！　後半は爪ブラシも併用して都合1分程度ガシガシしまくった。

普段は当然メカニックグローブを装着して整備するが、今回は敢えて素手でブレーキパッドの交換をしてみた。まぁ、これだけ汚くなるワケだ。